

富士山での森林保護活動（ソヌ インド）

私は、中部日本研修センターで国際協力ボランティアをしているソヌです。インドからまいりました。

7月8日に、私と農業研修生はいっしょに富士山に行きました。富士山は日本でいちばん有名なところです。私は4年前も、農業研修生として中部日本研修センターで研修を受けていましたが、その時もいちど富士山に来て、オイスカメンバー（会員）のみなさんといっしょに木の管理をしました。



今年は後輩の農業研修生たちと作業をしました。今年後輩と見た富士山は、4年前に見た富士山よりみどりになっている気がします。

この日は、10時くらいにバスに乗って、富士山のしたから木の管理をする場所まで行きました。はじめ、後輩の研修生たちは作業がむずかしそうでしたが、地元の林業者の方に管理の方法をおしえてもらって、むずかしくなくなりました。

インドからの農業研修生アビシェクさん（左）と一緒に作業しました。植えた木をシカの食害から守るためにネットをつけます。今、センターのある愛知県はとてもあついです。富士山は緑が多くてすずしかったので、みんなも元気でたのしく作業をすることができました。このとき天気は少しくもりで、富士山は見えませんでした。雨はふらなかった。作業はしやすかったです。

12時30分ごろに木の管理がおわって、バスで富士山からおりてみんなでいっしょにお弁当を食べました。おいしかったです。そして食べるときに、オイスカのメンバーたちといっぱい話しました。どうして木の管理をするのかということや、森の大切さなどについて、いろいろなことを教えてもらいました。

このような機会を与えていただき、オイスカのメンバーやセンターのみなさんにころからありがとうを伝えたいです。ありがとうございました。

